

# しまねの森林

NO 39

平成27年10月  
通巻279号



森林のトピックス①

P2

## “しまねWOODフェア”開催

(一社)島根県木材協会

森林のトピックス②

P4

## 目指せ!林業女子の技術力アップ

島根県林業課 林業普及スタッフ

森林のトピックス③

P5

## 宮城県派遣職員からの状況報告

島根県森林整備課 治山・林道グループ

特集

P6

## 2015「しまねの森林」 フォトコンテスト結果発表!

森林のトピックス④

P8

## 島根県林業公社が創立50周年記念式典を開催

(公社)島根県林業公社

森林の知恵袋

P8

## シリーズ⑧ 名の由来「マタタビ」

島根県林業課 林業普及スタッフ

森林の研究

P9

## 中国山地でのニホンジカの増加を抑えるために

島根県中山間地域研究センター 鳥獣対策科

### 2015「しまねの森林」フォトコンテスト最優秀賞作品



2015『しまねの森林』フォトコンテスト 結果発表!

大盛況

# “しまねWOODフェア”開催

(一社) 島根県木材協会

森林のレポートスリムス1



9月27日に「くにびきメッセ」で、木の良さのPRと木材需要拡大を目的に「しまねWOODフェア」を開催し、約4千人の来場者がありました。

県内の製材業者や工務店による製材品や木造住宅関連商品をPRするブースでは、木製建材や家具・建具などの様々な木材製品に触れたり、説明に聞き入る方も多く、銘木の展示販売コーナーでは、美しい木目や木の良い香りを楽しむ人、真剣な様子で品定めをする人などでにぎわいました。

また、木育コーナーには、東京おもちゃ美術館からたくさんの木のおもちゃがやってきました。配置された指導者から遊び方を教わった子どもたちは、普段なかなか触れることのない、優しい手触りの木のおもちゃに夢中でした。

木の手作り体験コーナーもあり、どんぐりを使ったおもちゃやミニチュアロボ木ーなど、今の

## しまねの木を活用した『森』からつながる『家』づくり



### 「しまねの木の家」づくり安心サポート

「しまねの木の家」推進センター(一般社団法人島根県住まいづくり協会内)  
島根県松江市北田町35-3 建築会館内 TEL(0852)31-1282 <http://www.sumai.ne.jp/>



木製ロボット型おもちゃ「ロボ木ー」

子どもたちには珍しい木のおもちゃを手作りし、親子で楽しんでいました。

木育に関する講演会も開催され、『木のおもちゃを通じた木育』では、東京おもちゃ美術館の館長、多田千尋氏から、人生の様々なステージでの木育の事例と、安心感を得られるなどの木材製品を使うことでのメリットについて講演がありました。『「ロボ木ー」と学ぼう「木育」を』では、島根大学名誉教授、山下晃功氏から、木製ロボット型おもちゃ「ロボ木ー」に込められた木育へのメッセージについて講演がありました。

両者の講演で共通して語られていたのは、木材の加工の自由度の高さについてであり、木材は少量でも多様な加工が可能であるため、様々な場面で多様な木育に活用できるとのことでした。普段、教育に関わることの少ない木材業界の関係者は、木材に関する新たな視点を得ることが出来たようです。

その他にも木工芸品の展示・販売、おもちゃのパフォーマンスやライブペイントショー、屋台など訪れたすべての人が楽しめるような催し物により、大盛況のうちにフェアは終了しました。

このフェアの開催により、実際に木製品に見て触れて頂く機会を設けたことで、多くの来訪者に様々な木の良さをPRすることができました。



東京おもちゃ美術館館長  
多田千尋氏



島根大学名誉教授  
山下晃功氏

## 県産木材の利活用おうえん隊



島根県建築士会 **しまね木造塾** コアスタッフ一同

アトリISHUN  
建築設計事務所 飴屋工房  
宇佐美建築設計室  
宇田川孝浩建築設計事務所  
蔵本総建コンサルタント  
コクーン設計舎

田中まさこ建築設計室  
一級建築士事務所 田中屋工房  
中村建築設計事務所  
有限会社 万設計  
村上建築設計事務所  
渡邊建築工房株式会社

# 「目指せ！林業女子の技術力アップ」

～県内初、女性限定のチェーンソー研修会開催～

島根県林業課 林業普及スタッフ

近年、森林整備活動などにおいてチェーンソーを使用し、伐木作業を行う「林業女子」が増えています。

そこで、「林業女子」に安全なチェーンソーワーク（知識・技術）を習得していただくことを目的に島根県林業研究グループ連絡協議会が平成27年7月27・28日島根県中山間地域研究センター（飯南町）において研修会を開催しました。

研修には、自伐林家や林研グループ会員のほか森林組合や市職員など森林・林業関係の女性12名の参加がありました。

メイン講師には、全国屈指のチェーンソー指導者であり、「安全なチェーンソーワーク」を全国各地で指導されているNPO法人ジット・ネットワークサービス理事長の石垣正喜氏を迎え実施されました。

1日目は安全な伐木技術に関する講義、目立て・丸太切り実習、2日目は受け口づくり・追いつる切り実習と伐倒実習が行われました。



石垣氏(左端)の目立て指導



安全なチェーンソーフォーム

参加者は石垣氏の指導を熱心に聴き、わからないところは積極的に質問し、一生懸命に技術の習得を目指していました。その成果があらわれ、目立てフォームやチェーンソーフォームは見違えるほど良くなりました。

2日間とも気温30度を超え、途中雨が降り湿度も高く、厳しい条件下ではありましたが、参加者の集中力は途切れることはありませんでした。

参加者からは、「自分のフォームの悪いところを理論的にわかりやすく指導してもらい大変勉強になった」、

「基本的な技術を実践することの重要性と難しさがわかった」、「学んだことを持ち帰り、労働安全研修会や現場指導に生かしたい」などの感想が寄せられました。

最後に石垣氏から、「基本的な技術を体に覚え込ませるために、毎日5分の反復学習を最低1ヶ月続けてほしい。」とアドバイスされ研修会は終了しました。

なお、本研修会は林野庁の「平成27年度高校生等に対する林業経営・就業体験等事業」の助成を受けて実施されました。



追いつる切りによる伐倒実習

## 森林の中で働く人のお手伝いをします

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
5. 雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター（公益社団法人 島根県林業公社内）

松江市黒田町 432 番地 1(島根県土地改良会館 3F)

TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375 E-mail shimane-roukakuc@nifty.com



# 宮城県派遣職員からの状況報告

～東日本大震災の復興に携わって～

島根県森林整備課 治山・林道グループ

東日本大震災の災害復旧を図るため、島根県職員1名を派遣しています。派遣されている藏敷秀則氏からの近況報告を次のとおりご紹介します。

東日本大震災により、死者10,538人、行方不明者1,242人、家屋の全壊等462,318棟、被害額約9兆円（H27.7.31現在 継続調査中）の損害を受けました。平成27年度は「宮城県震災復興計画」の再生期にあたり、「宮城の将来ビジョン」に掲げる元気な宮城の実現を目指して復興が進められています。

主な復興状況としては、災害廃棄物の処分が完了し、道路や鉄道などのインフラも9割が復旧しました。また、生活再建のための公営災害住宅や土地区画整理等もほぼ着工し、医療、高齢者福祉施設も99%が再開しています。

今年度は更に復興を加速させるため、各自治体より約260名の職員が派遣され、私も4月から島根県代表として、気仙沼地方振興事務所に配属されました。主な業務は、農漁業振興等のため伊達政宗の時代から整備した「海岸防災林」を被災前の姿に戻すこと、またその防災林を保全するための「防潮堤」が被災したため、今後数十年から百数十年で発生する津波に対しても、避難するための時間を稼ぎ、堤防の全壊を回避する、粘り強い新たな構造の海岸堤防を復旧させることです。

さて現在、メディアで流される東北の映像や、報道発表されている復興を示す数字は、島根で暮らす皆さんに被災地の現状をしっかりと伝えているでしょうか。今、気仙沼は土砂を運搬するダンプトラックにより交通渋滞が発生し、あちらこちらからの飛砂により、被災を免れた居住地にも砂埃が吹き上がっています。また、復旧工事や土地の造成にも着手していますが、決して完成しているわけではありません。私は自分の目で確かめることにより、外部からの情報だけでは知り得なかった、復興とはほど遠い今の宮城の姿を知ることが出来ました。

今年度1年間は、現地での復興支援はもちろんのこと、帰県後の将来の災害に備えるために、被災地でしか得ることが出来ない経験知を蓄えていきたいと思えます。

（宮城県気仙沼地方振興事務所 農林振興部 森林整備班 技術主査 藏敷秀則）

気仙沼の現状  
（H27・8現在）



気仙沼合庁からの眺め



気仙沼内湾(浜町)  
漁港施設地 造成



気仙沼内湾(魚町)周辺状況



南気仙沼  
災害復興住宅 建設

2015

# 「しまねの森林」フォトコン

毎年恒例となりました「しまねの森林」フォトコンテスト。今年は県内外72名の方から163点の応募がありました。その中から選ばれた入賞作品11点を発表します。

「タイトル」  
(撮影場所)  
コメント

最優秀賞

「フイトンチッドで森林浴」(奥出雲町) 吉岡直樹さん



光の捉え方が上手く、立木と下草の描写が素晴らしい、思わず深呼吸したくなるような作品です。

優秀賞

「やすらぎ」(大田町) 五百蔵実さん



人物の位置も良く、鮮やかな緑の林を行く親子には動きもあり、作品に奥行きを感じさせる秀作です。

「千年杉に見守られ」(吉賀町) 原田剛志さん



高津川源流の一本杉は、地域の人々に大切にされてきました。躍動感溢れる祭りの表情をとらえています。

## 講評

島根県は総面積の内78%を森林が占めており、全国では第4位の森林県であります。

この「しまねの森林」フォトコンテストは、奥山に広がる針葉樹林の中の様子や、霧の湧き上がる山間の美しい風景、身近にある森や林の人とのふれあい、更に森を維持管理するための植栽から育成保護の様子を写真で紹介することにより、広く森林と林業に対する関心や理解を深めていただくことを目的としています。

今年の応募作品は、過去最多の163点に上りました。そして、このコンテストが求めている内容を満たすに十分な質の高さも感じました。

昨今、日常的に使うカメラとレンズの発達は、目を見張るものがあります。しかし、シャッターを押す役目は腕と指です。折角出会ったチャンスもカメラが「ブレ」て、出来上がった写真が「ぼやけ」ては作品になりません。

また、超広角レンズの使用にも注意が必要です。このレンズは、人が認識できる範囲を超えた広範囲を撮影できるものですが、欠点は像が歪むことです。出来るだけカメラを水平に構えて撮影することが大事です。すくと立った木々が湾曲してはまずいですね。カメラアングルが大切な撮影要素になります。

関係団体の代表の方々と共に審査したこのコンテストは、意見を交換しながら慎重に賞を決定いたしました。

個々の入賞作品についてのコメントはここでは割愛いたしますが、撮影対象が大ききどの作品を見ても苦勞の跡が伺えます。次回は人工林の植栽から育成管理、また自然林の保護の様子など、林業に関わる写真や食料としての森の恵みを通して、人との関わりを写した作品も期待したいと思ひます。

「しまねの森林」フォトコンテスト審査委員長  
日本写真協会会員 成相 吉堯

# ンテスト結果発表!

たくさんのご応募  
ありがとうございました!

## 入 選



「森林再生」(出雲市) 藤江松男さん  
丘陵に広がる松林の顔を出した幼木が日を受けて輝いており、無事に育てと祈る心が伝わってきます。



「神名火山の一本桜」(松江市) 渡辺正史さん  
茶臼山の頂上に大きく育った一本桜と植栽された若木のそばで、元気をもらった見事なジャンプです。



「山と緑と赤瓦」(美郷町) 河野将幹さん  
緑豊かな山懐に抱かれた集落の様子が、まるで箱庭でも見ているかのようにうまく撮られています。

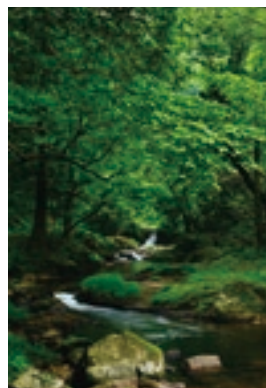
## 佳 作



「日原の夜明け」(津和野町) 井上弘一さん  
遥か遠くの峰は朝日に霞み、谷間からは霧が立ち昇り、整然と並んだ針葉樹林の梢が美しいです



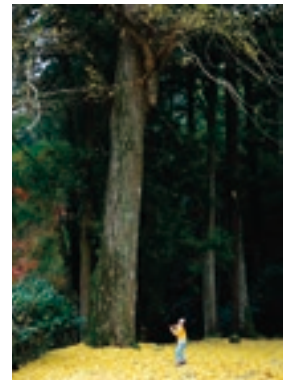
「父さん!きれいだね!!」(益田市) 岡村みどりさん  
霧の中に満開となった桜の老木、愛犬と眺める静かな心休まるひと時です。



「清涼の森」(雲南市) 榊原 真さん  
森は天然の水瓶、静寂の中に清流の音が聞こえてきそうな、美しい森の表情を写し撮っています。



「日本一のシイの木」(松江市) 岡 一夫さん  
年を重ねて幾星霜、老いた幹からは新しい幹が育ちつつあり、古木の生命力を感じます。



「鰐淵寺の大銀杏」(出雲市) 小玉光二さん  
感動すら覚える、詩情あふれる傑作写真です。

## 【入賞作品展示のお知らせ】

### 【中山間フェアinい〜なん】

10月24日(土)  
10:00~15:00

中山間地域研究センター  
(飯石郡飯南町上来島1207)

### 【島根県庁本庁舎 1階 玄関ロビー】

11月9日~11月13日  
(松江市殿町1)

### 【島根県立図書館 2階回廊】

1月5日~2月3日  
(※月曜休館)  
(松江市内中原町52)

# 島根県林業公社が 創立50周年記念式典を開催

(公社)島根県林業公社

島根県林業公社は去る7月24日、溝口知事や糸原県議会議長、速水雲南市長をはじめとする来賓の皆様や、公社社員、関係団体等の方々など約120名の出席を得て、創立50周年の記念式典を開催しました。

式典では、公社の設立の経緯や公社がこの50年間に果たしてきた役割、林業を取り巻く情勢の変化等を振り返るとともに、ビデオ「緑と生きる—若い力が明日を拓く—」を放映しました。

式典に続き、東京大学大学院の白石則彦教授による「社会的産業としての林業の未来像を描く」と題した記念講演が行われ、これまで小規模所有者の森林をまとめて経営してきた林業公社には、将来的にも循環型の新たな林業の経営、森林管理者としての可能性が期待できるとする内容でした。

式典、講演を通じ、出席者は、林業公社が島根の森林・林業・木材産業の発展に取り組んでいくことを確認しました。



溝口知事の来賓祝辞



白石先生の記念講演



## 森林の知恵袋

島根県林業課 林業普及スタッフ

### シリーズ⑧ ■名の由来「マタタビ」

マタタビは、マタタビ科のツル性落葉樹で、9月頃には黄緑色の実が熟します。山間部の道沿いにも普通に観られるのでなじみがありますね。「え？ 観たことないよ？」と思われる読者の方は、6～7月頃に楕円形の葉が一部真っ白になったツル性の植物を探せば、すぐに見つけることが出来ると思います。マタタビは、疲労回復などの効果が知られていますが、今回は諸説あるマタタビの名の由来をご紹介します。



まず有名なのが、「疲れた旅人がこの実を食べて元気になって『また旅』を続けることから」というものですね。また「アイヌ語の『マタタムブ』から」きたとも言われています。マタは冬、タムブは「亀の甲」で「実の虫えい」の意（牧野新日本植物図鑑より）とするものと、タムブは「苞=つと・手土産」の意（植物和名の研究：深津正、分類アイヌ語辞典：知里真志保より）とする2説があるようです。他にも「ワタ蓼の意であり、ワタ（果実）の味が蓼のように辛いことから」（和泉晃一：[http://www.ctb.](http://www.ctb.ne.jp/~imeirou/sub8.html)

ne.jp/~imeirou/sub8.html「草木名のはなし」より）きたというのがあります。マタタビは生薬で、「木天蓼」と呼ばれますから、これなどは実の特質をそのまま名前にした感じですね。また、和泉氏によるとマタタビは『万葉集』の歌には詠まれておらず、平安時代になって「和名抄」で初めて木天蓼は「和太々非」である旨、記されているとのこと。まだまだ諸説はあるようで、マタタビの名ひとつとっても、語り始めると奥が深いと感じます。

余談ですが、「猫にマタタビ」と言い、マタタビの枝や木粉は猫が喜び、元気がないときなどに効果がありますが、これは「β-フェニルエチルアルコール」「マタタビラクトン」「アクチニジン」といった成分によるものです。しかし、獣医さんによると、一部の雄猫や老猫には刺激が強すぎて、呼吸困難になるほど興奮することもあるそうですので、愛猫には与えすぎないようにご注意ください！





# 森林 の 研究



みーも博士

## 中国山地でのニホンジカの増加を抑えるために

島根県中山間地域研究センター  
農林技術部 鳥獣対策科

### ■中国山地でのシカの生息実態

本県の中国山地では、広島県から侵入したシカが県境に接する飯南町や邑南町を中心に増加傾向です。環境省の推定では、島根県には50~3,000（中央値250）頭、広島県には22,000~200,000（中央値52,000）頭が生息しています。シカが増加すると、植栽木は枝葉採食害を、また成木は樹皮剥皮害を受けることから、循環型林業の推進に大きな障害となる恐れがあります。そのため、シカが増えすぎないように捕獲による個体数管理が必要です。しかし、本県の中国山地では、生息実態はほとんど把握されておらず、また捕獲者には十分な技術が備わっていません。そこで、当センターでは、平成27年度から5年計画で「中国山地でのシカの捕獲実証モデルの構築」を始めました。



邑南町で生息を確認したオスジカ（自動撮影カメラ）

### ■GISを使った生息情報の共有化

島根県統合型GIS「マップonしまね」を使って、シカの日撃、捕獲などの生息情報を一元的に集積し、Web上での情報の共有化を図ります。また、これらの生息情報に基づいた重点捕獲地域を抽出します。なお、このシステムは、全県（以前から生息する島根半島の出雲市を除く）を対象にします。

### ■最新の技術による捕獲の実証

シカの生息情報の多い飯南町と邑南町をモデル地域にして、スマートフォンなどのWeb上のライブ映像による遠隔監視や操作が可能なICT（情報通信技術）システムを用いた捕獲装置などによる効率的な捕獲を実証します。また、銃器を使ったシャープシューティング（誘引狙撃法）を試行します。



飯南町で発生したネムノキの樹皮食害

### ■成果の活用

中国山地でのシカの重点捕獲地域を明らかにし、また最新の捕獲装置の導入等による効率的な捕獲を実証して、現地の捕獲者への技術移転を図ります。そして、現地の捕獲者が重点捕獲地域での効率的な捕獲を実践できれば、本県の中国山地でのシカの増加を抑えることができ、循環型林業の推進も可能となります。

（科長 金森弘樹）

緑をはぐくみ 水をつくる  
島根県水源林造林協議会

〒690-0886 松江市母衣町55番地  
電話 (0852)24-1092  
FAX (0852)61-4350  
e-mail: suizoukyo.shimane@bird.ocn.ne.jp

地域とともに豊かな森林を創る  
農林中央金庫  
中国農林水産環境事業部

岡山市北区磨屋町9番地18の101号 TEL (086) 222-0675

## インフォメーション

島根県民の森  
飯石郡飯南町小田

### 県民の森へ行こう！

県民の森ではトレッキング、木工教室等各種イベントを開催しています。自然や森とのふれあいの楽しさ、木の温もりを感じてください。

#### 11月～3月のイベント情報

- ◆11月1日(日)  
**県民の森紅葉の指谷山ブナ林縦走**  
県民の森木工室集合(受付8:30～8:45)
- ◆11月7日(土)  
**大パノラマ紅葉の琴引山縦走**  
Aコープきじま店集合(受付8:30～8:45)
- ◆11月15日(日)  
**紅葉の毛無山～鯛の巣山縦走**  
雲南市吉田総合センター集合(受付8:30～8:45)
- ◆11月22日(日)  
**森と炎と人と**  
～家でできるくん製とドラム缶ピザ、焼き芋～  
県民の森木工室集合(受付9:30～9:45)
- ◆平成28年2月27日(土)  
**スノーシューで雪の森を歩こう**  
県民の森木工室集合(受付8:30～8:45)

〈申込先〉森のホテル もりのす  
TEL 0854-76-3119  
※各定員20名・事前申し込みが必要です。

### 林業の成長産業化に向けた研修会

成熟期を迎える森林資源を循環利用し、成長産業化に結びつけるために必要な条件について考える。

【日程】平成27年11月2日(月) 13時～16時30分  
【会場】ニューウェルシティ出雲  
(島根県出雲市塩冶有原町2-15-1)

#### 【内容】

- (1)講演「素材生産事業体による再造林への貢献」  
(九州地方における素材生産事業体の戦略)  
宮崎大学農学部森林緑地環境学科 助教 大地 俊介氏
- (2)「低コスト林業に資する路網整備や集約化施業の実例」(県内での2事例発表)
- (3)講演「林業の成長産業化実現に必要なこと」  
(島根県の実情に沿った適応策を提言)  
東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 酒井 秀夫氏

#### 【主催者(共催)】

四流域林業活性化センター、島根県森林協会、島根県森林組合連合会、島根県木材協会、島根県素材流通協同組合、島根県

#### 【参加申込み】

氏名・勤務先・連絡先を記入の上、下記へFAXしてください。

島根県農林水産部森林整備課  
TEL:0852-22-6541  
FAX:0852-22-6549

10/24

### 「2015 中山間フェア in い～なん」へ行こう！



島根県中山間地域研究センターでは、県民の皆様により理解され、親しまれる研究機関となるよう、施設を開放した交流イベントを開催します。

当日は大人から子供まで楽しめる催し物を多数用意しております。楽しく、美味しい秋の「い～なん」で一日をぜひ満喫してください。

- 日時：平成27年10月24日(土) 10時～15時 ※雨天決行
- 内容：
  - うまいものコーナー、お買いものコーナー
  - 各種体験コーナー(木工体験、顕微鏡観察、搾乳体験、野遊びカフェ 他)
  - スタンプラリー(景品あり) ●きのこがいっぱいin chu-san-kan part2
  - 和歌コンテスト 最終審査会及び表彰 ●島根大学研究紹介
  - 飯南高校と赤来中学校による合同吹奏楽 など
- 場所：島根県中山間地域研究センター内(飯南町上来島1207)
- 主催：島根県中山間地域研究センター
- 協力：飯南町



昨年の中山間フェアの様子

豊かな森を活かし地域に貢献する

## 島根県素材流通協同組合

〒699-2837 江津市松川町上河戸390-22 TEL:0855-55-0840 FAX:0855-55-0841  
E-mail:shimanesoryuukyoku@aioros.ocn.ne.jp

# 地球にやさしいカートカン

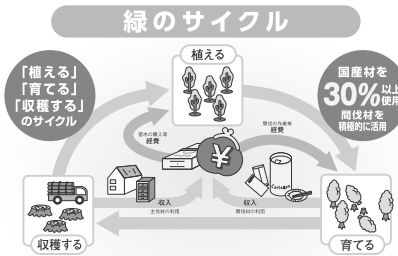
※国産材30%以上使用した紙製飲料容器です。



カートカン(紙製飲料缶)は  
第三回エコプロダクツ大賞  
エコプロダクツ部門  
農林水産大臣賞受賞



●紙製飲料容器「カートカン」は  
ストローいらずでゴクゴク飲めます!



**pokka sapporo**

お問い合わせは「自販機本部」  
(03)5634-1621まで

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社  
<http://www.pokkasapporo-fb.jp/>

## サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる  
**スミパイン®乳剤**  
頼れる松枯れ防止用散布剤  
**モリエート®SC**  
樹幹注入剤  
**グリーンガード®エイト**

伐倒木用くん蒸処理剤  
**キルパー®40**  
微量注入用 ナラ枯れ予防用樹幹注入剤  
**ウッドキング®DASH**

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



大阪府淀川区西中島4丁目5番1号 TEL 06(6305)5871

## 除草はおまかせ下さい!

竹類に効果抜群です!

クズ株処理剤

**テンレート**  
非農耕地用除草剤

**クズコロシ液剤**

1株一ワンプッシュ 経済的

日本カーリット株式会社

野津善助商店

九州営業所  
福岡市博多区博多駅前1-4-4  
TEL (092)473-6521  
FAX (092)451-8195

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10  
TEL (0852)53-0670(代)  
FAX (0852)53-0674  
E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

# 森林の明るい未来に貢献する



しまね企業参加の森づくり事業



●島根県森林技術ボランティアサポート制度 第1号登録団体

## 島根県森林土木技術協会

島根県森林土木技術協会

〒699-0202 島根県松江市玉湯町湯町 147-1 島根県測量設計会館内  
TEL 0852-62-0979 FAX 0852-62-0948

## 緑の募金

森林に  
“あなたの思い”  
届けます!

(公社)島根県緑化推進委員会  
〒690-0886 松江市母衣町55 島根県林業会館内  
TEL(0852)21-8049 FAX(0852)21-8231

東日本震災地域の森林復興を支援します

賛助会員を  
募集しています

現在、247団体・33個人  
ご参加をいただいております。

年会費 (団体)1口…10,000円から  
(個人)1口…2,000円から

会費は、企業参加の森づくりや  
地域の緑化活動などに役立てられます。

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ

## 大和森林株式会社

代表取締役 松原正記

本社 島根県松江市東朝日町87番地6 〒690-0001  
TEL(0852)21-6222(代)  
営業所 鳥取、松江、益田、津山、三次

## 祝 国宝松江城



ひと味ちがうガイドブック

「松江城」

A4変形判 32P ¥500+税

お近くの書店でお買い求め下さい。

ハーベスト出版 [瀬谷口印刷内]

TEL 0852-36-9059 FAX 0852-36-5889



URL <http://www.tprint.co.jp/harvest/> E-mail:harvest@tprint.co.jp 〒690-0133 島根県松江市東長江町902-59

みんなで  
森を守ろう!

山陰の森林に関する活動をしているNPO法人や  
ボランティア団体がネットワークを構築し、  
森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

森林を守るぞ!  
山陰ネットワーク会議

ホームページアドレス <http://www.mori-sanin-net.jp/>

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

安心安全・美味しいキノコをお届けします。

・椎茸、舞茸、エリンギ

『美味しまね認証』取得

・椎茸菌新品種『雲太-1号』開発



有限会社奥出雲椎茸

島根県仁多郡奥出雲町三沢 98-3  
TEL 0854-54-2150  
FAX 0854-54-2151

株式会社舞茸奥出雲

島根県仁多郡奥出雲町八川 889-2  
TEL 0854-52-0017  
FAX 0854-52-3370

安全・安心・美味しい

日本産原木しいたけ栽培を応援します



一般財団法人 日本きのこセンター

三次支所

広島県三次市島敷町916-2  
TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012

# 現地フラッシュ

林業普及  
レポート

農林大  
だより

## 広域 チェーンソー研修 (林業普及員)

- 日時：平成27年7月29日(水)～30日(木)
- 場所：島根県中山間地域研究センター



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

## 松江 菌床しいたけ生産施設にて 「美味しまね認証」 の監査を実施

- 日時：平成27年8月7日(金)
- 場所：松江市島根町大芦(島根町菌床椎茸生産組合)



東部農林振興センター

URL : [http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/kikan/toubu\\_norin/ringyo/blog\\_cms/](http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/kikan/toubu_norin/ringyo/blog_cms/)

## 雲南 雲南の木増産プロジェクト 「更新伐現地研修会」

- 日時：平成27年8月3日(月)
- 場所：飯石郡飯南町



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

## 出雲 親子でふれあう 木工教室

- 日時：平成27年8月22日(土)
- 場所：出雲木材市場



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

## 浜田 ～地域の林家に学ぶ～ 山林見学会を開催

- 日時：平成27年8月1日(土)
- 場所：浜田市上府町地内山林



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

## 県央 第21回中国・四国ブロック 林業グループコンクール ～樹冠ネットワーク(川本町)が準優勝～

- 日時：平成27年7月28日(火)
- 場所：徳島県徳島市「ホテルグランドパレス徳島」



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

## 益田 原木しいたけ 活着点検開催

- 日時：平成27年7月21日(火)、23日(木)
- 場所：益田市美都地区、津和野町日原地区



西部農林振興センター益田事務所

URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-masuda\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/)

## 隠岐 隠岐支庁林業部、 農林工務部合同研修会

- 日時：平成27年8月3日(月)～4日(火)
- 場所：隠岐の島町(林業専用道、木材生産現場、コンテナ苗生産施設)



隠岐支庁農林局

URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-oki\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/)

## 農林大 高性能林業機械を活用 した主伐・搬出実習

- 日時：平成27年7月17日(金)～24日(金)
- 場所：邑智郡邑南町後山地区



島根県立農林大学校林業科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>

森林・林業総合情報誌

# しまねの森林

NO. 39

平成27年10月  
通巻279号

発行：「しまねの森林」発行委員会

島根県・島根県森林組合連合会・島根県林業改良普及協会・島根県森林協会

島根県緑化推進委員会・島根県林業公社・島根県木材協会・島根県獺友会

国立研究開発法人森林総合研究所森林農地整備センター松江水源林整備事務所

協力：島根県農林水産部 林業課林政企画グループ

発行日：平成27年10月13日

ホームページアドレス：林業課 <http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/>

森林整備課 <http://www.pref.shimane.lg.jp/shinrinseibi/>

